学位授-	与方針と各科目の	関連(建築・環境学部建築・環境学科)					ディ	プロマ	゚゚゚゙゙゠ポリ	シー					
建築・環培や	→ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域12項目及び各コースの能力)を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総	矢	□識・理	解	技	能	思考	•判断•	表現		関心・意	欲・態!	隻	
合的かつ全	体的な学術体系を基盤とし	すめた上が日かわたく、大に向いるすべての能力に特別はは日本いちコースの能力と加え、別たの年位と修行しており、産業・環境子のお 、、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現 。及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	解と他者理解につながる幅	周広い教養(※)を身につけている。(幅広い教養)													
2. 建築の	意匠、歴史、構造、材料、斑	÷部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。 環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。(専門分野に関する知識・理解) 」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)													
◆技能		築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。(問題発見・解決力)													
◆思考·判斷	断·表現	ュニケーションカを有している。(国際協働力)													
(多文化での	の共生)	理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。 た事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。(倫理観、公平・公正な判断)													
8. 他者の		自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理													
	わたり、進んで知識・教養・	技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(生涯学び続ける意欲)													備考
11. 建築物	の設計プロセスにおいて、	k割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(社会参加への主体性) 豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して恊働できる。(チームワーク、他者との協働) ずる実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(建学の精神の実践、奉仕動													I用 <i>行</i>
機) 更に、各コー	-スの方針を次のように定め			専									チ	建	
建築に対	ザインコース 対する幅広い基礎的な素養:	を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン(設計)を実践できる感性と能力を身につけて		門	114				倫				Ì	学	
	ンジニアリングコース	†・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。		分野	地域				理観		44.		ムワー	の精	
3. 環境共	生デザインコース	T. 開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に		関	関	問		_	公公		生涯	社会	ク	神の	
4. まちづく	を身につけている。 くりデザインコース アナア はたるいに 下 サナスカ	·····································		する	する	題発		多文	平		学 び	参 加	他	実践	
と能力を身に	B市境境を創出・再生するだ につけている。 デザインコース	めに、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケーブデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性	幅広	知 識	知識	見	国際	化で	公正	傾聴	続 け	<u>^</u> の	者と	奉	
すまいに		住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する こつけている。	か教	理	理	解決	協働	の共	な 判	と発	る意	主体	の協	仕動	
			養	解	解) j	力	生	断	信	欲	性	働	機	
科目 区分	分野	時間割名			(③(当て	はまる	5)	0(-	部当て	はまる)			
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学[生・応]	0			0	0	0	0		0	0	0	0	
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学[数・情]	0			0	0	0	0		0	0	0	0	
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学[先]	0			0	0	0	0		0	0	0	0	
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学[電・ス]	0			0	0	0	0		0	0	0	0	
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学[土]	0			0	0	0	0		0	0	0	0	
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学[建]	0			0	0	0	0		0	0	0	0	
教養 数養	共通_基幹_基礎	キリスト教学(技術者としての倫理)[生·応] キリスト教学(技術者としての倫理)[数・情]	0 0			0	0	0	0		0	0		0	
	共通_基幹_基礎	キリスト教学(技術者としての倫理)[先]	0			0	0	0	0		0	0		0	
	共通_基幹_基礎	キリスト教学(技術者としての倫理)[電・ス]	0			0	0	0	0		0	0		0	
	共通_基幹_基礎	キリスト教学(技術者としての倫理)[土]	0			0	0	0	0		0	0		0	
教養	共通_基幹_基礎	キリスト教学(技術者としての倫理)[建]	0			0	0	0	0		0	0		0	
教養	共通_基幹_基礎	自校史	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
教養	共通_基幹_基礎	文学 I [A]	0			0		0	0		0	0		0	
教養	共通_基幹_基礎	文学 I [B]	0			0		0	0		0	0		0	
	共通_基幹_基礎	文学 I [A]	0			0		0	0		0	0		0	
	共通_基幹_基礎	文学Ⅱ[8]	0			0		0	0	_	0	0	_	0	
	共通_基幹_基礎	哲学 I [A]	0			0		0	0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	哲学 I [B] 哲学 I [C]	0 0			0		0	0	0	© ©		0	0	
	共通_基幹_基礎	哲学Ⅱ[A]	0			0		0	0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	哲学Ⅱ[8]) ()			0		0	0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	哲学 I [C]	0			0		0	0	0	0		0	0	
教養	共通_基幹_基礎	歴史学 I	0		0	0	0	0	0		0		0	0	
教養	共通_基幹_基礎	歴史学Ⅱ	0		0	0	0	0	0		0		0	0	
教養	共通_基幹_基礎	論理学 I	0			0			0	0	0			0	
	共通_基幹_基礎	論理学Ⅱ	0			0			0	0	0			0	
教養	共通_基幹_基礎	文化人類学 I	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	文化人類学Ⅱ	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	2017年中45年
教養 教養	共通_基幹_基礎	サウンドスケープデザイン 経済学 I [A]	0			0		0	0		0	0	0		2017年度から廃」
	共通_基幹_基礎	経済学 I [B]	0			0			0		0	0		0	
	共通_基幹_基礎	経済学 I [A]	0			0			0		0	0		0	
	共通_基幹_基礎	経済学Ⅱ[B]	0			0			0		0	0		0	
	共通_基幹_基礎	社会学[A]	0			0	0	0	0		0	0	0	0	
教養	共通_基幹_基礎	社会学[B]	0			0	0	0	0		0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	社会福祉論[A]	0			0	0	0	0		0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	社会福祉論[B]	0			0	0	0	0		0		0	0	
	共通_基幹_基礎	法学[A]	0			0			0		0	0		0	
	共通_基幹_基礎	法学[B]	0			0			0		0	0		0	
	共通_基幹_基礎	法学	0			0			0		0	0		0	
	共通_基幹_基礎	憲法[A] 憲法[B]	<u> </u>			0			0		0			0	
	共通_基幹_基礎	憲法	0			0			0		0			0	
	共通_基幹_基礎	政治学 I [A]	0			0	0		0		0	0		0	
	共通_基幹_基礎	政治学 [[8]	0			0	0		0		0	0		0	
	共通_基幹_基礎	政治学 I [A]	0			0	0		0		0	0		0	
教養	共通_基幹_基礎	政治学 II [B]	0			0	0		0		0	0		0	
教養	共通_基幹_基礎	心理学 I [A]	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	心理学 I [B]	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	心理学Ⅱ[A]	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	心理学 [[8]	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	心理学 I [C]	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
叙套	共通_基幹_基礎	心理学 I [D] 心理学 I [C]	0 0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
数美	共通_基幹_基礎	10 NTT -C 11 11 . 1			i .				. (U)	Ū					

学位授.	与方針と各科目の	関連(建築・環境学部建築・環境学科)					ディ	プロマ	'・ポリ :	シー					
		育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域12項目及び各コースの能力)を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総	失	□識・理	解	技	能	思考	-判断-:	表現	ļ	関心・意	微•態/	度	
的かつ全 の共生社	は体的な学術体系を基盤とし は会が必要とする諸課題を追	、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現 自及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	 【解と他者理解につながる帖	晶広い教養(※)を身につけている。(幅広い教養) 学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。													
2. 建築の	D意匠、歴史、構造、材料、3	環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。(専門分野に関する知識・理解) 川の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)													
技能 4. 建築の)基礎的知識に基づいて、質	建築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。(問題発見・解決力)													
5. 国際社 ▶思考·判	t会において協働できるコミ 断・表現	ュニケーション力を有している。(国際協働力)													
多文化での	の共生)	理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。													
8. 他者の)意見に耳を傾けるとともに	た事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。(倫理観、公平・公正な判断) 、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理													
▶関心·意		技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(生涯学び続ける意欲)													1111-
0. 社会・	地域・組織の一員としての役	「我能で高める」と)なる思いを行うと、社会がられた建築の有意はと現在では同題点を追跡できる能力を有している。(社産学の続ける思い) 役割を集たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(社会参加への主体性) 豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)													備考
		する実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(建学の精神の実践、奉仕動													
	ースの方針を次のように定と ・ザインコース	ბ გ.		専									チー	建	
いる。		を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン(設計)を実践できる感性と能力を身につけて		門分	地				理				٨	学の	
建築構造		計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。		野に	域に				観、		生	社	ワー	精神	
建物の現	ヒ生デザインコース 環境・設備に関わる設計・施 □を身につけている。	エ、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に		関す	関す	問題		多	公平		涯 学	会参	ク、	の実	
4. まちづ	くりデザインコース	-めに、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性	4=	る	る	発		文	.	灰	び	加	他	践	
*能力を身 5. すまい	につけている。 デザインコース		幅広	知 識	知識	見・27	国際 2	化での	公正	傾 聴 -	続ける	へ の :	者との	奉	
すまいに		住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する につけている。	か教	· 理	理	解決	協働	の 共	な判	と 発	る 意	主体	の協	仕動	
천모			養	解	解	カ	カ	生	断	信	欲	性	働	機	
科目 区分	分野	時間割名			(③(当て	にはまる)	O(-	部当て	はまる)			
教養	共通_基幹_基礎	心理学 II [D]	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
教養	共通_基幹_基礎	教養セミナ[A]	0			0	0	0	0		0	0	0	0	
教養	共通_基幹_基礎	教養セミナ[B]	0			0	0	0	0		0	0	0	0	
教養	共通_基幹_基礎	Japanese Culture and Society I	0			0	0	0		0	0	0	0	0	2021年度休講
教養	共通_基幹_基礎	Japanese Culture and Society II	0			0	0	0		0	0	0	0	0	2021年度休講
教養	共通_基幹_基礎	総合コース I	0			0		0			0			0	2017年度から序
教養	共通_基幹_基礎	総合コースⅢ	0			0		0	0		0	0		0	2017年度から序
教養	共通_基幹_基礎	総合コースIV	0			0	0		0		0			0	2017年度から序
教養	共通_基幹_基礎	英語コミュニケーション論	0			0	0	0		0	0	0	0		2017年度から廃
教養	共通_基幹_基礎	国際コミュニケーション論	0			0	0	0		0	0	0	0	0	2017年度から廃
	共通_基幹_基礎	【認定】ソーシャルサービス[春学期開講]	0			0	0	0	0		0	0		0	
	共通_基幹_基礎	【認定】ソーシャルサービス「秋学期開講」	0			0	0	0	0		0	0		0	
	共通科目	KGUキャリアデザイン入門[数・土・建]	0			0		0		0	0	0	0	0	
	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎 I A	0			0		0		0	0	0	0	0	
	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎 I B	0			0		0		0	0	0	0	0	
	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎 I C	0			0		0		0	0	0	0	0	
	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎 Ⅱ A	0			0		0		0	0	0	0	0	
	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎 Ⅱ B	0			0		0		0	0	0	0	0	
	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎 II C	0			0		0		0	0	0	0	0	
	共通科目	KGUキャリアテ・ザ・イン応用 I	0			0		0			0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	【神奈川県情報サービス産業協会協力講座】かながわ学(IT産業)	0			0		0	0		0	0		0	
	共通科目	KGUかながわ学(行政)	0	0	0	0		0			0	0	0	0	
	共通科目	KGUかながわ学(経済)	0		0	0		0			0	0	0	0	
	共通科目	KGUかながわ学(政治)	0		0	0		0			0 0	0	0	0	
	共通科目 共通科目	KGUかながわ学(スポーツ) KGUかながわ学(歴史・文化)	0		0	0		0		0	0 0	0	0	0	
	共通科目 共通科目	KGUかながわ学(歴史・文化) KGUかながわ学(自然)	0		0	0		0			0	0	0	0	
	共通科目	KGUかながわ学(健康)	0		0	0		0			0 0	0	0	0	
	共通科目	KGUかながわ学(地域づくり)	0	0	0	0		0			0	0	0	0	
	共通科目	KGUかながわ学(地域安全)	0	0	0	0		0			0	0	0	0	
	共通科目	KGUかながわ学(コミュニティ)	0	0	0	0		0			0	0	0	0	
	大通14日	健康スポーツ I [A] (バスケットボール)	0		9	0				0	0	0	©	0	
	大過_基幹_基礎	健康スポーツ I [B] (バレーボール)	0			0				0	0	0	0	0	
	大通_基幹_基礎	健康スポーツ I [C] (バドミントン)	0			0				0	0	0	0	0	
	大通_基幹_基礎	健康スポーツ I [D] (テニス)	0			0				0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	健康スポーツ I [E] (バドミントン)	0			0				0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	健康スポーツ I [F] (サッカー)	0			0				0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	健康スポーツ I [G](卓球)	0			0				0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	健康スポーツ I [H](サッカー)	0			0				0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	健康スポーツ I [I] (卓球)	0			0				0	0	0	0	0	
保健体育	大通_基幹_基礎	健康スポーツ I [J] (卓球)	0			0				0	0	0	0	0	
呆健体育	大通_基幹_基礎	健康スポーツ I [K] (バスケットボール)	0			0				0	0	0	0	0	
呆健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツ I [L] (運動処方)	0			0				0	0	0	0	0	
呆健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツ II [A] (バスケットボール)	0			0				0	0	0	0	0	
呆健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅡ[B](バレーボール)	0			0				0	0	0	0	0	
呆健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツ II [C] (バドミントン)	0			0				0	0	0	0	0	
呆健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツ II [D] (バドミントン)	0			0				0	0	0	0	0	
呆健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅡ[E](バドミントン)	0			0				0	0	0	0	0	
呆健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツ II [F] (サッカー)	0			0				0	0	0	0	0	
呆健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツ II [G] (サッカー)	0			0				0	0	0	0	0	
呆健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅡ [H](バスケットボール)	0			0				0	0	0	0	0	
呆健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツ II [I] (フットサル)	0			0				0	0	0	0	0	
呆健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツ II [J] (卓球)	0			0				0	0	0	0	0	
呆健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅡ [K](卓球)	0			0				0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅡ[L](運動処方)	0			0				0	0	0	0	0	

学位授与	与方針と各科目の	関連(建築・環境学部建築・環境学科)					ディ	プロマ	'•ポリシ	/ —					
		育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域12項目及び各コースの能力)を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総 ノ、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現	失	□識・理			能	-	•判断•3				欲・態!		
在の共生社: ◆知識・理解	会が必要とする諸課題を〕 ^異	音及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
(※)総1	合大学の利点を活かした	冨広い教養(※)を身につけている。(幅広い教養) 学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。 環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。(専門分野に関する知識・理解)													
3. 建築•環 ◆技能	環境学の観点から、「神奈」	」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)													
	会において協働できるコミ	≜築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。(問題発見・解決力) ュニケーションカを有している。(国際協働力)													
6. 他者が	もつ社会的・文化的背景を)共生)	理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。													
8. 他者の		た事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。(倫理観、公平・公正な判断) 、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理													
◆関心・意欲 9. 生涯に	欠・態度 わたり、進んで知識・教養・	技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(生涯学び続ける意欲)													備考
11. 建築物(の設計プロセスにおいて、	役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(社会参加への主体性) 豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) する実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(建学の精神の実践、奉仕動													1佣 石
機) 更に、各コー	-スの方針を次のように定る			専									チ	建	
	ザインコース †する幅広い基礎的な素養	を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン(設計)を実践できる感性と能力を身につけて		門分	地				倫理				Í A	学の	
2. 建築工法建築構造		計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。		野に	域に				観、		生	社	ワー	精神	
建物の環	生デザインコース ^{最境・} 設備に関わる設計・施 を身につけている。	1工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に		関す	関す	問題		多	公平		涯学	会参	ク、	の実	
4. まちづく 良好な都	くりデザインコース B市環境を創出・再生するた	cめに、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性	幅	る知	る知	発見	国	文化	公 公	傾	, び 続	加へ	他者	践、	
5. すまいう	こつけている。 デザインコース 関する知識をもとに、戸建	住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する	広い	識	識	解] 際 協	での	正な	聴と	ける	の主	0 ج	奉 仕	
	広く携わる感性と能力を身		教養	理解	理解	決力	働力	共生	判断	発信	意欲	体性	協働	動機	
科目	分野	時間割名		77+)(当て			〇(一部				(24)	1/20	
区分 保健体育	共通 基幹 基礎	健康スポーツⅢ[A](テニス)	0			0				0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	健康スポーツ皿[8](フットサル)	0			0				0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	健康スポーツ皿[C](バスケットボール)	0			0				0	0	0	0	0	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅢ[D](卓球)	0			0				0	0	0	0	0	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅢ[E](サッカー)	0			0				0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	健康スポーツ皿[F](バドミントン)	0			0				0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	健康スポーツIV[A](サッカー)	0			0				0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅣ[B](ニュースポーツ)	0			0				0	0	0 0	0	0	
	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅣ[C](バレーボール) 健康スポーツⅣ[D](卓球)	0			0				0 0	0	0 0	0	0 0	
	共通_基幹_基礎	健康スポーツIV[E](バレーボール)	0			0				0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	健康スポーツIV[F](卓球)	0			0				0	0		0		
	共通_基幹_基礎	健康スポーツV[A](テニス)	0			0				0	0	0	0	0	
保健体育	共通_基幹_基礎	健康スポーツV[B](卓球)	0			0				0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	健康スポーツVI[A](バスケットボール)	0			0				0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	健康スポーツⅥ[B](バレーボール)	0			0				0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	武道指導論Ⅰ	0			0					0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	武道指導論 I 英語基礎I(グラマー)	0 0			0	0	0		0	0	0 0	0	0 0	2017年度から廃」
	共通_基幹_基礎	英語基礎 II (グラマー)	0 0			0	0	0		0 0	0	0 0	0		2017年度から廃」 2017年度から廃」
	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング) [生·応·建A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング)[生·応·建B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング)[生·応·建C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング)[生·応·建D]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング)[生·応·建E]	0			0	0	0		0	0	0 0	0	0 0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング)[生・応・建F]	0			0	0	0		0	0	0 0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング) [生·応·建G] 総合英語(リーディング) [数·電·ス·情A]	0 0			0	© ©	0		0 0	0	0 0	0	0 0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング)[数·電·ス·情B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング) [数·電·ス·情C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング) [数·電·ス·情D]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング)[数・電・ス・情日]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング)[数・電・ス・情F]	0 0			0	0	0		0	0	0 (0	0 (
	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング) [数·電·ス·情G]	0 0			0	0	0		0	0	0 0	0	0 0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング) [先·±A] 総合英語(リーディング) [先·±B]	0 0			0	© ©	0		0 0	0	0 0	0	0 0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング)[先・土C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング)[先·±D]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング) [先·土E]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング)[先·土F]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング) [再A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リーディング) [再B]	0 0			0	0	0		0	0	0 (0	0 (
	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング) [生・応・建A]	0			0	0	0		0	0	0 0	0	0 0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング) [生·応·建B] 総合英語(リスニング) [生·応·建C]	0			0	© ©	0		0 0	0	0 0	0	0 0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング) [生・応・建D]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング) [生·応·建E]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング) [生·応·建F]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
外国語	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング) [生·応·建G]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング) [数·電·ス·情A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング)[数·電·ス·情B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
-	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング) [数·電·ス·情C]	0			0	0	0		0	0	0 (0	0 (
	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング) [数·電·ス·情D] 総合英語(リスニング) [数·電·ス·情E]	0 0			0	0	0		0	0	0 0	0	0 0	
7 NIXIE#	共通_基幹_基礎		0	-		0	0	0		0	0	0		0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング) [数·電·ス·情F]	0		1	, ,	0	, ,		, ,	, ,	0	0	0	

字位授-	与方針と各科目の)関連(建築・環境学部建築・環境学科)			h a			プロマ					N. A		
的かつ全	体的な学術体系を基盤とし	育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域12項目及び各コースの能力)を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総 っ、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現	失	□識・理			能		-判断-			10			
コ識・理角	翠	自及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
(※)総	合大学の利点を活かした!	偏広い教養(※)を身につけている。(幅広い教養) 学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。 「理論・知識に関する対策が知識な理解している。」理論を論まれる。													
建築・環		環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。(専門分野に関する知識・理解) 川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)													
		建築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。(問題発見・解決力)													
考・判断	听 •表現	ュニケーション力を有している。(国際協働力)													
文化での	0共生)	注理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。													
他者の	意見に耳を傾けるとともに	た事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。(倫理観、公平・公正な判断) 、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理													
関心・意欲		サルナミルトミーナ7条のよせ、マーサヘム・ミロよびはの大き様し1日もの問題とようひとでも7かよとましていて、(東京男がは1.7.2条の)													
). 社会 비	也域・組織の一員としての行	・技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(生涯学び続ける意欲) 役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(社会参加への主体性) 思言なが続いより、想要のよりに、技術をお思えず、より、後述等により思います。													備考
		豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) する実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(建学の精神の実践、奉仕動													
こ、各コー	-スの方針を次のように定 ザインコース	ಶುಕ್ಕ		専									チ	建	
		を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン(設計)を実践できる感性と能力を身につけて		門分	地				倫理				ム	学 の	
. 建築工	ンジニアリングコース もや材料・施工に関わる設	計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。		野に	域に				観		#	> +	ワー	精神	
3. 環境共	生デザインコース	E工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に		関	関	問			公		生涯	社会	- ク	の	
	を身につけている。 くりデザインコース			する	する	題発		多文	平 •		学び	参 加	他	実践	
	ß市環境を創出・再生するカ こつけている。	ために、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性	幅	知	知	見	国	化	公工	傾	続	^	者	` `	
すまいに		住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する	広い	:	識	解	際協	での	正 な	聴と	ける	の 主	との	奉 仕	
野まで幅)	広く携わる感性と能力を身	につけている。	教養	理解	理解	決力	動力	共生	判断	発 信	意欲	体 性	協働	動機	
科目	分野	時間割名	J.C.	,,,T)(当て					はまる		(year)	1750	
区分	157					ı		1	J (-1		_	_			
	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング)[数・電・ス・情G]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング)[先·土A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング)[先・土B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング)[先·土C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
福国	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング)[先·±D]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング)[先·土E]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング)[先·土F]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
相語	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング)[再A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング)[再B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(リスニング)[再C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通 基幹 基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション)「生・応・建A1]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [生・応・建A2]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [生・応・建B1]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション)「生・応・建B2]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーフルコミュニケーション)[生・応・建B2] 総合英語(オーラルコミュニケーション)[生・応・建C1]	0			0	0	0		0	0	0 0	0 0	0	
			-								<u> </u>				
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [生・応・建C2]	0			0	0	0		0	0	0	0 0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [先・土A1]	0			0	0	0		0	0	0	0 0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [先・土A2]	0			0	0	0		0	0	0 (0 0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [先・土B1]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [先・土B2]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [先・土C1]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [先・土C2]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [数・電・ス・情A1]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
ト国語	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [数・電・ス・情A2]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
福国	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [数・電・ス・情B1]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
福国	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [数・電・ス・情B2]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
相語	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [数·電·ス·情C1]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [数·電·ス·情C2]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [再A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
相語	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [再B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション)[再C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション)[再D]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [生・応・建DE1]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション)[生・応・建DE2]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション)[生・応・建DE3]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション)[生・応・建FG1]	0			0	0	0		0	0	0 0	0 0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション)[生・応・建FG2]	0										0 0	0	
	共通_基幹_基礎					0	0	0		0	0	0			
		総合英語(オーラルコミュニケーション)[生・応・建FG3]	0			0	0	0		0	0	0 0	0 (0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション)[先・土DEF1]	0			0	0	0		0	0	0 0	0 (0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション)[先・土DEF2]	0			0	0	0		0	0	0 0	0 (0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [先・土DEF3]	0			0	0	0		0	0	0 0	0 (0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション)[先・土DEF4]	0		1	0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション)[数・電・ス・情DE1]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション)[数・電・ス・情DE2]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [数・電・ス・情DE3]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [数・電・ス・情FG1]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [数・電・ス・情FG2]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
福国	共通_基幹_基礎	総合英語(オーラルコミュニケーション) [数·電·ス·情FG3]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング)[生·応·建A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング)[生·応・建B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング)[生·応・建C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング)[先・土A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング)[先·士B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング)[先・土C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
一一百		総合英語(ライティング)[近・エC] 総合英語(ライティング)[数・電・ス・情A]	0			0				0	0	0 0	0 0	0	
	共通_基幹_基礎	1997 - 111 - 1 199 1 4 19 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			i .	. ()	0	0		()	. ()				

· 过技	チカ町と合科目の	関連(建築・環境学部建築・環境学科)		n Silo	AZ.	,,,			・ポリシ			8.2	Who date o	de .	
的かつ全値	体的な学術体系を基盤とし	育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域12項目及び各コースの能力)を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総 、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現	1	□識•理		4	能	8 有	-判断-	表現 8	9	10	(欲・態) 11	12	
知識・理解	¥	自及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。		2	3	4	5	0	/	8	9	10	- 11	12	
(※)総1	合大学の利点を活かした	扇広い教養(※)を身につけている。(幅広い教養) 学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。 『異様・記述は日本文教授教授を持たいでは、『神経》は、『神経》は、『記念は「まる」は、『『記念は「まる」は、『『記念は「まる」は、『記念は「まる」は、『記念は「記念は「記念は「記念は「記念は「記念は、『記念は「記念は、『記念は、『記念は、『記念は、『記念は、『記念は、『記念は、『記念は、『													
3. 建築•環		環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。(専門分野に関する知識・理解) II」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)													
技能 . 建築の	基礎的知識に基づいて、愛	建築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。(問題発見・解決力)													
	会において協働できるコミ	ュニケーション力を有している。(国際協働力)													
	もつ社会的・文化的背景を	理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。													
. 倫理観	と公平・公正の精神を持っ	た事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。(倫理観、公平・公正な判断)													
している。	(傾聴と発信)	、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理													
関心・意欲 9. 生涯にね	わたり、進んで知識・教養・	技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(生涯学び続ける意欲)													/# <i>+</i>
		役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(社会参加への主体性) 豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)													備考
		する実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(建学の精神の実践、奉仕動													
に、各コー	-スの方針を次のように定る ザインコース	ಶಿಕ್ಕ		専									チ	建	
建築に対		を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン(設計)を実践できる感性と能力を身につけて		門	444				倫理				 	学の	
	ンジニアリングコース			分野	地域				観				ワカ	精	
3. 環境共	生デザインコース	計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。		に関	関	問			公公		生涯	社 会	ク	神の	
	環境・設備に関わる設計・施 を身につけている。	5工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に		ず	す	題		多	平		学	参	``	実	
	(りデザインコース) 市環境を創出・再生する <i> </i>	zめに、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性	4=	る	る	発		文		1.3	び	加	他	践	
能力を身に	にはなると こつけている。 デザインコース		幅広	知識	知識	見・	国 際	化で	公正	傾聴	続 け	⟨ 6	者と	奉	
すまいに	関する知識をもとに、戸建	住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関するにつけている	い	•	•	解	協	の	な	٢	る	主	の	仕	
±アまで幅♬	広く携わる感性と能力を身	c ∠1, C0 °00	教養	理解	理解) 力	動力	共生	判断	発 信	意欲	体 性	協働	動機	
科目	八町	<u> </u>	R	,,,,,,									, cores	in.C	
区分	分野	時間割名			(◎(当て	いよる	1)	〇(一音	n = C	はまる)			
十国語	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング) [数・電・ス・情B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング) [数・電・ス・情C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通 基幹 基礎	総合英語(ライティング)[生・応・建D]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
			_												
	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング) [生·応·建E]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング)[生·応·建F]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング)[生·応·建G]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング)[先·土D]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング)[先・土E]	0			0	0	0		0	0	0	_	0	
													0		
	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング)[先·土F]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング) [数・電・ス・情D]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング) [数・電・ス・情E]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング) [数・電・ス・情F]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング)[数・電・ス・情G]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
													_		
	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング) [再A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング)[再B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング)[再C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	_
国語	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング)[再D]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	総合英語(ライティング)[再E]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	英語講読(科学·基礎)[A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	英語講読(科学·基礎)[B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	英語講読(科学)	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	英語講読(文学)	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	資格英語(TOEIC基礎)[A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	資格英語(TOEIC基礎)[B]	0			0	0			0	0		0	0	
								0				0 0			
	共通_基幹_基礎	資格英語(TOEIC中級)[A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	資格英語(TOEIC中級)[B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	資格英語(TOEIC上級)	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	資格英語(技術英検)[A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	資格英語(技術英検)[B]	0			0	0	0		0 (0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	英語講読(時事英語)	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	英語講読(論文)	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	英語プレゼンテーション I	0			0	0	0		0	0	0	0	0	2017年度から
国語	共通_基幹_基礎	英語プレゼンテーション Ⅱ	0			0	0	0		0	0	0	0	0	2017年度から
	共通_基幹_基礎	アカデミックライティング I	0			0	0	0		0	0	0	0	0	=
						<u> </u>								_	0001 fr fr 11-5
	共通_基幹_基礎	アカデミックライティング I	0			0	0	0		0	0	0	0		2021年度休請
	共通_基幹_基礎	ビジネスイングリッシュ	0			0	0	0		0	0	0	0	0	2017年度から
	共通_基幹_基礎	アカデミックプレゼンテーション Ι	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	アカデミックプレゼンテーション Ⅱ	0			0	0	0		0	0	0	0	0	2021年度休請
	共通_基幹_基礎	インターネットイングリッシュ	0			0	0	0		0	0	0	0		2017年度から
													_		
	共通_基幹_基礎	オーラルコミュニケーション I [A]	0			0	0	0		0	0 0	0 0	0	0	
	共通_基幹_基礎	オーラルコミュニケーション I [B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	オーラルコミュニケーション II [A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	オーラルコミュニケーション II [B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I A(文法)[C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I A(文法) [E]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I A(文法)[A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I A(文法)[F]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I A(文法)[D]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎		0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I A(文法)	0				_						0	0	
						0	0	0		0	0	0			
	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I B(文法)[C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I B(文法)[E]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	/\			. —					. —						
国語	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I B(文法)[A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
国語		ドイツ語 I B(文法)[A] ドイツ語 I B(文法)[F]	0 0			0	0	0 0		0	0 0	0 0	0	0	

学位授-	 与方針と各科目の	関連(建築・環境学部建築・環境学科)					ディ	プロマ	'・ポリ	シー					
		育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域12項目及び各コースの能力)を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総 育研学よりにない。これ、そのなか、理論のサケに既なの社会を認めませ、採用・変わってしたの性を持っていまった。	失	□識・理	解	技	能	思考	•判断•	表現	B	心・意	欲・態度	ŧ	
	会が必要とする諸課題を追	、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現 自及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1. 自己理 (※)総	解と他者理解につながる幅合大学の利点を活かした。	冨広い教養(※)を身につけている。(幅広い教養) 学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。													
3. 建築·ṭ		環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。(専門分野に関する知識・理解) II」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)												- 1	
		皇築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。(問題発見・解決力)												- 1	
思考·判断	断·表現	ュニケーションカを有している。(国際協働力) ・理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。												- 1	
多文化での	の共生)	・車牌レビスと、自己を各体にしてぶ考することができる。 た事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。(倫理観、公平・公正な判断)												- 1	
8. 他者の		に 事象の刊前力を得することでは、 注象の基礎的知識に基づいて、 注象物を設計するプロセスを理解している。												- 1	
関心・意名	次・態度	技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(生涯学び続ける意欲)												- 1	/#. **
0. 社会·b 1. 建築物	地域・組織の一員としての役 Jの設計プロセスにおいて、	役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(社会参加への主体性) 豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)												- 1	備考
幾)		する実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(建学の精神の実践、奉仕動 ・-												- 1	
1. 建築デ	ースの方針を次のように定め ザインコース ナナスをたいまなかなまま			専門					倫				チー	建学	
る。	すする幅広い基礎的な素養 ンジニアリングコース	を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン(設計)を実践できる感性と能力を身につけて		分野	地域				理観				ムワ	, の 精	
建築構造		計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。		15	10				`		生	社	ĺ	神	
持わる能力	を身につけている。	5工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に		関す	関す	問題		多	公平		涯学	会参	ク、	の実	
良好な都		こめに、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性	幅	知	知	発見	玉	文化	公公	傾	び 続	加へ	他者	践	
5. すまい	につけている。 デザインコース - 眼ナスながたナトに、京建	ゟゔぃ゙゙゙゙゚゚ゕ゙゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	広い	識	識	解	際協	での	正な	聴と	ける	の 主	م	奉仕	
	- 関する知識をもとに、戸建 広く携わる感性と能力を身	住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する につけている。	教	理	理	決	働	共	判	発	意	体	協	動	
科目			養	解	解	カー	カ	生、	断	信切ルイ	欲	性	働	機	
区分	分野	時間割名			(③(当て	. はまる)	O(-	が当て	はまる)			
帝国相	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I B(文法)[B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
		ドイツ語 I B(文法)	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語 II A (読解) [E]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
		ドイツ語 I A (読解) [F]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
		ドイツ語 II A (読解) [A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I A (読解) [B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語 II A (読解) [C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I A (読解) [D]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語ⅡA(読解)	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I B (読解) [E]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I B(読解)[F]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I B(読解)[A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I B (読解) [B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I B (読解) [C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語 I B(読解)[D]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語 IB(読解)	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語皿A	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ドイツ語皿B	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	フランス語 I A[A]	0			0	0	0 0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	フランス語 I A[B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	フランス語 I B[A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	フランス語 I B[B] フランス語 II A[A]	0			0	© ©	0 0		0	0 0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	フランス語 II A[B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	フランス語 II B[A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	フランス語 II B[B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語 I A[A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語 I A[B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語 I A[C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語 I A[E]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語 I A[F]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語 I A[G]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語 I A[D]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語 I A	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語 I B[A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語 I B[B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語 I B[C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語 I B(E)	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語 I B[F]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語 I B[G]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語 I B[D]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語IB	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
小国語	共通_基幹_基礎	中国語 II A[A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
相国語	共通_基幹_基礎	中国語 II A[B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
小国語	共通_基幹_基礎	中国語 II A[C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
小国語	共通_基幹_基礎	中国語 II A[E]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
小国語	共通_基幹_基礎	中国語IA[F]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語 II A[G]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語 II A[D]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語IIA	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語IA[H]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
外国語	共通_基幹_基礎	中国語 II B[A]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
小国語	共通_基幹_基礎	中国語IB[B]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
小国語	共通_基幹_基礎	中国語 II B[C]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語 I B[E]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	

学位授-		関連(建築・環境学部建築・環境学科)					ディ	プロマ	"・ポリ	シー					
		育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域12項目及び各コースの能力)を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総 デザインとエンジニアル・グの純全、環境との共生、既なの社会変質の維持、活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上がど、現	失	□識・理	解	技	能	思考	•判断•	表現	B	掲心・意	欲・態息	更	
	会が必要とする諸課題を追	、, デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現 B及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1. 自己理	 解と他者理解につながる幅 合大学の利点を活かした当	I広い教養(※)を身につけている。(幅広い教養) ₽部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。												- 1	
3. 建築•珥		環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。(専門分野に関する知識・理解) 」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)												- 1	
		t築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。(問題発見・解決力) ュニケーションカを有している。(国際協働力)												- 1	
思考·判断	断•表現	ユーケーンヨンガを有している。(国際協働ガ) 理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。												- 1	
多文化での	の共生)	を事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。(倫理観、公平・公正な判断)												- 1	
8. 他者の		自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理													
	わたり、進んで知識・教養・	技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(生涯学び続ける意欲)												- 1	備考
1. 建築物	の設計プロセスにおいて、	と割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(社会参加への主体性) 豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) まる実践の映まましていませない。また私、目よ後なの言葉はしませないまませます。												- 1	淵方
(-スの方針を次のように定む	する実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(建学の精神の実践、奉仕動 ha		_									_	7.23	
1. 建築デ	゚゙ザインコース	シャッ を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン(設計)を実践できる感性と能力を身につけて		専門					倫				チー	建学	
る。	ンジニアリングコース			分野	地域				理観				ムワ	の精	
3. 環境共	生デザインコース	十・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。		に関	に関	問			公公		生涯	社会	し ク	神の	
きわる能力:	^{東現・設備に} 関わる設計・他 を身につけている。 くりデザインコース	工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に		す	でする	題		多文	平		学び	参加	他	実践	
良好な都		めに、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性	幅	る知	知	発見	国	化	公	傾	続	^	者	``	
5. すまい	デザインコース	住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する	広い	識	識	解	際 協	での	正な	聴と	ける	の 主	との	奉 仕	
	広く携わる感性と能力を身		教養	理解	理解	決力	働力	共生	判断	発信	意欲	体性	協働	動機	
科目	分野	時間割名	茂	77†			はまる				はまる		L2VJ	1,5%	
区分			_		9			ı		I .	I _		_		
	共通_基幹_基礎	中国語 I B[F]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語IB[G]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語IB[D]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
		中国語IB	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	中国語 I B[H]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	スペイン語 I A スペイン語 I B	0			0	OO	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	スペイン語IA	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	スペイン語ⅡB	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ロシア語 I A	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ロシア語 I B	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ロシア語 II A	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	ロシア語 Ⅱ B	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	日本語 I A	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	日本語 I B	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	日本語IIA	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	日本語Ⅱ日	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習(英語)[春学期開講]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習(中国語)[春学期開講]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習(韓国語)[春学期開講]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
外国語	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習(フランス語)[春学期開講]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
外国語	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習(英語)[秋学期開講]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
韩国相	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習(中国語)[秋学期開講]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
韩国相	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習(韓国語)[秋学期開講]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
部国机	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習(フランス語)[秋学期開講]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
韩国梧	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習(ドイツ語)[春学期開講]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
外国語	共通_基幹_基礎	【認定】海外語学演習(ドイツ語)[秋学期開講]	0			0	0	0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学 I [生·数·応A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学 I [生·数·応B]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学 I [先A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学 I [先B]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学 I [電・ス]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学 I [情A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学 I [情日]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学 I [建A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学 I [建B]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学 I [建C]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学 I [土A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学 I [土B] 微分積分学 I [生・数・応A]	0	0		© ©			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分字 II [生・数・応A] 微分積分学 II [生・数・応B]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学 II [先A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学 II [先B]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅱ[電·ス]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅱ[情A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学 II [情B]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学 I [建A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅱ[建B]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学 II [建C]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	微分積分学Ⅱ	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	線形数学 [[生]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	線形数学 I [数]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	線形数学 I [応·先·土·建B]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	線形数学 I [電·ス]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	1	線形数学 I [情A]	0	0		0			0	0	0		0	0	

学位授 <i>!</i>	ラ方針と各科目の ファイン	関連(建築・環境学部建築・環境学科)					ディ	プロマ	゚゚゠ポリ	シー					
		育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域12項目及び各コースの能力)を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総 ハデザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現	失	コ識・理	解	技	能	思考	-判断-	表現	<u> </u>	掲心・意 復	次•態度	ŧ	
	会が必要とする諸課題を追	、、ナサインとエンンニアリンクの統合、環境との共生、既任の任芸賞源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の同上など、現 B及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1. 自己理(※)総	解と他者理解につながる帽合大学の利点を活かした。	晶広い教養(※)を身につけている。(幅広い教養) 学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。												- 1	
3. 建築•環		環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。(専門分野に関する知識・理解) Ⅰ」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)													
		±築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。(問題発見・解決力) ュニケーションカを有している。(国際協働力)												- 1	
思考·判断	f·表現	エーノーンコンガと行じている。(国际励劇ガ) 理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。												- 1	
多文化での)共生)	た事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。(倫理観、公平・公正な判断)												- 1	
乳ている。	(傾聴と発信)	、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理												- 1	
	わたり、進んで知識・教養・	技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(生涯学び続ける意欲)												- 1	備考
1. 建築物	の設計プロセスにおいて、	設割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(社会参加への主体性) 豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(テームワーク、他者との協働) まる実践の能理も良についている。 火金が、日本のない、日本のない、日本のない、日本のない、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは												- 1	湘石
隻)	メして誠美に向さ合おうと -スの方針を次のように定る	する実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(建学の精神の実践、奉仕動 かる		_									_	7.25.	
1. 建築デ	ザインコース	ション を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン(設計)を実践できる感性と能力を身につけて		専門					倫				チー	建学	
る。	ンジニアリングコース			分野	地域				理観				ムワ	の 精	
3. 環境共	生デザインコース	計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。		関	関	問			公公		生涯	社会	 	神の	
きわる能力?	『項・設備に関わる設計・施 を身につけている。 『りデザインコース	工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に		す	す	題		多立	平		学	参	` `	実	
良好な都		めに、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性	幅	る知	る知	発見	国	文化	· 公	傾	び 続	加へ	他 者	践、	
5. すまい	デザインコース	住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する	広い	:	識	- 解	協	での	正な	聴と	ける	の 主	との	奉仕	
	広く携わる感性と能力を身		教養	理解	理解	決力	働力	共生	判断	発信	意欲	体性	協働	動機	
科目	分野	時間割名	食	77年			はまる				はまる		(3V)	7.5亿	
区分				-			. 13.5°C		<u> </u>	I .	1	,	_		
	共通_基幹_基礎	線形数学 I [応·先·土·建C]	0	0		0	_		0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	線形数学 I [応·先·土·建A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	線形数学 I [情B]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅱ[生・応]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅱ[数]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅱ[先・土・建B]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅱ[電・ス]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅱ[情A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅱ[先·土·建C]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅱ[先·土·建A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	線形数学Ⅱ[情B]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	代数学IA	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	代数学IB	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	代数学ⅡA	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	幾何学 I A	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	幾何学 I B	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	幾何学 II A 微分方程式	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	ベクトル解析	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	数理統計学 I [A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	数理統計学 I [B]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	数理統計学 I [A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	数理統計学 II [B]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	複素関数論 I	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	複素関数論Ⅱ	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学 I [生·応B1]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎		0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学 I [先·土A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学 I [先·土B1]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学 I [先·土B2]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学 I [先·土B3]	0	0		0			0	0	0		0	0	
享門基幹	共通_基幹_基礎	物理学 I [数·電·ス·情A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
亨門基幹	共通_基幹_基礎	物理学 I [数·電·ス·情B1]	0	0		0			0	0	0		0	0	
亨門基幹	共通_基幹_基礎	物理学 I [数·電·ス·情B2]	0	0		0			0	0	0		0	0	
門基幹	共通_基幹_基礎	物理学 I [数·電·ス·情B3]	0	0		0			0	0	0		0	0	
門基幹	共通_基幹_基礎	物理学 I [建A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
門基幹	共通_基幹_基礎	物理学 I [建B1]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学 I [建B2]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学Ⅱ[B1]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学Ⅱ[B2]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ[生·応B1]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ[生·応B2]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ[先·土A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ[先·土B1]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ[先·土B2]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ[先·土B3]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ[数·電·ス·情A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ[数·電·ス·情B1]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ[数·電·ス·情B2]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ[数·電·ス·情B3]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ[建A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ[建B1]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学Ⅲ[建B2]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	物理学Ⅳ[B1]	0	0		0			0	0	0		0	0	
+	共通_基幹_基礎	物理学Ⅳ[B2]	0	0		0			0	0	0		0	0	

学位授与	ラ方針と各科目の ファイン	関連(建築・環境学部建築・環境学科)					ディ	プロマ	゚゚゠ポリ	シー					
		育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域12項目及び各コースの能力)を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総 デザイントエンジェフリングの結合、理性トのサル、既ちの社会姿質の結構、活用、再生、そして人々の持続する生活の質の向したが、用	失	□識・理	解	技	能	思考	•判断•	表現	B	掲心・意	欲・態度	E	
	会が必要とする諸課題を追	、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現 富及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1. 自己理(※)総	解と他者理解につながる。 合大学の利点を活かした。	層広い教養(※)を身につけている。(幅広い教養) 学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。													
3. 建築•環		環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。(専門分野に関する知識・理解) IJの歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)													
		±築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。(問題発見・解決力) ユニケーション力を有している。(国際協働力)													
思考·判断	f·表現	エーソーンコンガを有している。(国际励働ガ) 理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。													
多文化での 7. 倫理観)共生) と公平・公正の精神を持っ	た事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。(倫理観、公平・公正な判断)													
乳ている。	(傾聴と発信)	、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理													
	わたり、進んで知識・教養・	技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(生涯学び続ける意欲) 设割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(社会参加への主体性)													備考
1. 建築物	の設計プロセスにおいて、	な劇を来にてづこり。る土体はど身に「JI、私芸から兄に理案の有息ほと現在の问题派と追喚にさる眼力を有している。(私芸参加への土体は) 豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) する実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(建学の精神の実践、奉仕動													1/HI
隻)	-スの方針を次のように定る			専									チ	建	
建築に対	ザインコース する幅広い基礎的な素養	を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン(設計)を実践できる感性と能力を身につけて		門	114				倫				1	学	
	ンジニアリングコース	計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。		分野	地域				理観				ムワー	あ精	
3. 環境共	生デザインコース	it・加上、開光、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に		に関	に関	問			公公		生涯	社会	ク	神 の	
きわる能力 を	を身につけている。 りデザインコース			する	する	題発		多文	平 •		学 び	参加	他	実践	
能力を身に	こつけている。	-めに、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性	幅広	知 識	知識	見・	国際	化で	公正	傾聴	続 け	<u>へ</u>	者と	奉	
すまいに	デザインコース 関する知識をもとに、戸建 広く携わる感性と能力を身	住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関するについている	い	•	•	解	協	の	な	٤	る	主	の	仕	
, ま, み ぐ幅ん	ニヽレッシ੧ノではC肥刀を身		教 養	理 解	理 解	決 力	動力	共 生	判断	発 信	意 欲	体 性	協 働	動 機	
科目区分	分野	時間割名			()(当て	はまる	5)	0(-	部当て	はまる)			
	共通_基幹_基礎	化学 I [A]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	化学 I [B]	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	化学 [[生]	0	0		0			0	0	0		0	0	
門基幹	共通_基幹_基礎	化学 I [応]	0	0		0			0	0	0		0	0	
亨門基幹	共通_基幹_基礎	生物学 I [生]	0	0		0			0	0	0		0	0	
厚門基幹	共通_基幹_基礎	生物学 I	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	栽培 I (実習を含む)	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	栽培 I (実習を含む)	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	機械工学総論Ⅰ	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	機械工学総論Ⅱ	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	木材加工 I (製図を含む)		0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	木材加工Ⅱ(実習を含む)		0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	金属加工 I (製図を含む)		0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	金属加工Ⅱ(実習を含む)		0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎 共通_基幹_基礎	機械実習 電気工学総論 I	0	0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	電気工学総論Ⅱ	0	0		0 0			0		0		0	0	
	共通_基幹_基礎	電気実習		0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習 I [生·応A]		0		0			0	0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習 I [生·応B]		0		0			0	0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習 I [数·土]		0		0			0	0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習 I [先A]		0		0			0	0	0	0	0	0	
専門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習 I [先B]		0		0			0	0	0	0	0	0	
亨門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習 I [電·ス]		0		0			0	0	0	0	0	0	
專門基幹	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習 I [情A]		0		0			0	0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習 I [情B]		0		0			0	0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習 I [建A]		0		0			0	0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習 []建日		0		0			0	0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習 I [生・応A]		0		0			0	0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習 I [生·応B] 情報基礎及び演習 I [数·土]		0		0			0	0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎 共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習 II [気・エ]		0		0			0	0	0	0	0	0	
	共通 基幹 基礎	情報基礎及び演習 I [先B]		0		0 0			0	0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習 II [電·ス·建B]		0		0			0	0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習 II [電·ス・建A]		0		0			0	0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	情報基礎及び演習 I [情]		0		0			0	0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	情報概論(情報社会及び情報倫理)[A]	0	0		0			0		0	0	0	0	
亨門基幹	共通_基幹_基礎	情報概論(情報社会及び情報倫理)[B]	0	0		0			0		0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	プログラミング基礎[生・応・電・土・建]		0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	プログラミング基礎[数]		0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	プログラミング基礎[総・自・ロ・ス]		0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	プログラミング基礎[情]		0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	プログラミング応用[生・数・応・電・土・建]		0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	プログラミング応用[総・自・ロ・ス]		0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	プログラミング応用[情] Webプログラミング「情]		0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基幹_基礎	Webプログラミング L情」 Webプログラミング		0		0			0	0	0		0	0	
	共通_基轩_基礎 共通_基幹_基礎	Webノログラミング 環境生態学[生·応]	0	0		0			0		0		0	0	
	共通_基幹_基礎	環境生態学	0	0		0			0		0		0	0	
	六週_苯针_苯烷 一 共通_基幹_基礎	環境と化学	0	0		0			0		0		0	0	
	共通_基幹_基礎	環境地球科学 I [理]	0	0		0			0		0		0	0	
	共通_基幹_基礎	環境地球科学 I [土·建]	0	0		0			0		0		0	0	
	共通_基幹_基礎	環境地球科学Ⅱ	0	0		0			0		0		0	0	
	共通_基幹_基礎	環境社会論	0	0		0			0		0		0	0	
	共通_基幹_基礎	環境フィールド演習		0		0			0	0	0		0	0	

学位授与	ラ方針と各科目の	関連(建築・環境学部建築・環境学科)					ディ	プロマ	'・ポリ:	シー					
		・ 研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域12項目及び各コースの能力)を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総 ・デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現	矢	□識・理			能		- 判断 -				な・態!		
在の共生社: ◆知識·理解	会が必要とする諸課題を追 詳	及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
(※)総1	合大学の利点を活かした学	広い教養(※)を身につけている。(幅広い教養) 部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。 境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。(専門分野に関する知識・理解)													
		現では、一般では、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に													
5. 国際社会	会において協働できるコミュ	築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。(問題発見・解決力) ニケーション力を有している。(国際協働力)													
◆思考・判断 6. 他者が: (多文化での	もつ社会的・文化的背景を理	里解したうえで、自己を客体化して思考することができる。													
7. 倫理観	と公平・公正の精神を持った	:事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。(倫理観、公平・公正な判断) 自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理													
解している。 ◆関心・意欲	(傾聴と発信) v・態度														
10. 社会・地	域・組織の一員としての役	女能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(生涯学び続ける意欲) 割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(社会参加への主体性) 豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)													備考
		最高はAlawClabでRaffのもには、Raffを目前をもりたに自己等量して励動とさる。(アーステーク、に自己の励動) る実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(建学の精神の実践、奉仕動													
1. 建築デー	スの方針を次のように定め ザインコース			専門					倫				チー	建学	
いる。	する幅広い基礎的な素養を ンジニアリングコース	身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン(設計)を実践できる感性と能力を身につけて		分野	地域				理観				ムワ	の精	
建築構造		・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。		1=	E	88			``		生	社	Í	神	
携わる能力を	を身につけている。	エ、 開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に		関する	関する	問題		多	公 平		涯 学 ~ ~ ~	会参	ク 、 ***	の実	
良好な都	リデザインコース 市環境を創出・再生するた。 こつけている。	めに、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性	幅	る知	る知	発見	国	文化	公	傾	び 続	加へ	他者	践、	
5. すまいう	デザインコース	t 宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する	広い	識	識	•	際協	での	正 な	聴と	ける	の 主	ے 0	奉 仕	
分野まで幅の	広く携わる感性と能力を身に	こつけている。	教養	理解	理解	決力	働力	共生	判断	発 信	意欲	体性	協働	動機	
科目区分	分野	時間割名)(当て			O(-#				,,		
	共通 基幹 基礎	環境と法	0	0		0			0		0		0	0	
	共通_基幹_基礎 共通_基幹_基礎	環境マネジメント	0 0	0		0			0		0		0	0	
	共通_基幹_基礎 共通_基幹_基礎	理工学概論[建]	0	0		0			0		0		0	0	
	共通_基幹_基礎	インターンシップA	0	0		0		0	-	0	0	0	0		2021年度から廃」
	共通_基幹_基礎	インターンシップB	0	0		0		0		0	0	0	0		2020年度から廃」
	共通科目	【認定】KGUインターンシップ I (事前指導)[建]	0			0		0		0	0	0	0	0	
全学共通科目	共通科目	【認定】KGUインターンシップ II (実習) [建]	0			0		0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	職業指導1[理工/建築·環境学部開講]	0	0		0		0		0	0	0	0	0	
	共通_基幹_基礎	職業指導2[理工/建築·環境学部開講]	0	0		0		0		0	0	0	0	0	
専門基礎	専門基礎	基礎数学 I [A]	0	0		0		0			0			0	
専門基礎	専門基礎	基礎数学 I [B]	0	0		0		0			0			0	
専門基礎専門基礎	専門基礎 専門基礎	基礎数学Ⅱ[A] 基礎数学Ⅱ[B]	0 0	O		0		0 0			0			0	
専門基礎		基礎数学Ⅲ	0	0		0		0			0			0	
専門基礎		文系のための建築数学・物理	0	0		0		0			0			_	2021年度休講
専門基礎	専門基礎	ドローイングワークショップ	0	0		0					0			0	
専門基礎	専門基礎	モデリングワークショップ	0	0		0					0			0	
専門基礎	専門基礎	ビルディング・ワークショップ	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	
専門基礎	専門基礎	ランドスケープデザイン・ワークショップ	0	0	0	0		0		0	0	0	0	0	
専門基礎	専門基礎	建築法規A	0	0	0	0			0		0			0	
専門基礎	専門基礎	建築法規B	0	0	0	0			0		0			0	
専門基礎	専門基礎	CAD演習 I [A]		0		0					0			0	
専門基礎	専門基礎	CAD演習 I [B]		0		0					0			0	
専門基礎専門基礎	専門基礎 専門基礎	CAD演習 II [B] CAD演習 II [A]		OO		OO					0			0	
専門基礎	事門基礎 専門基礎	CAD演習Ⅲ CAD演習Ⅲ		0		0					0		+	_	2021年度休講
専門基礎		測量学及び実習		0	0	0					0		0	0	
専門基礎	専門基礎	建築設計製図 I	0	0		0		0	0	0	0		-	0	
専門基礎	専門基礎	建築設計製図Ⅱ	0	0		0		0	0	0	0			0	
専門基礎	専門基礎	建築設計製図Ⅲ	0	0	0	0		0	0	0	0			0	
専門基礎	専門基礎	建築設計製図IV	0	0	0	0		0	0	0	0			0	
専門応用	コース・コア	住宅ケーススタディ演習	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		2021年度休講
専門応用	コース・コア	建築構法設計製図		0		0			©		0			0	
専門応用	コース・コア	建築構造設計製図		0		0			0		0	_	<u> </u>	0	
専門応用	コース・コア	ハウジングデザインスタジオ	0	0	0	0		<u></u>	0	<u> </u>	0	0	0	0	
専門応用 専門応用	コース・コア	地域施設デザインスタジオ 建築再生デザインスタジオ	0 0	OO	OO	OO		0 0	© ©	<u> </u>	0	0	0	0	
専門応用	コース・コア	建栄再生 デザインスタジオ	0	0	0	0		0 0	0		0	○	0	0	
専門応用	コース・コア	住宅インテリアデザインスタジオ	0	0	9	0		<u> </u>	0	<u> </u>	0	0	0	0	
専門応用	コース・コア	住宅設計スタジオ	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	
専門応用	コース・コア	パッシブデザインスタジオ		0		0			0	0	0		0	0	
専門応用	コース・コア	建築環境デザインスタジオ		0		0			0	0	0	0	0	0	
専門応用	コース・コア	建築・都市デザインスタジオ	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	
専門応用	コース・コア	すまいデザインスタジオ	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	
専門応用	デザイン	建築計画・デザイン基礎	0	0		0		0	0		0	0	0	0	
専門応用	デザイン	建築計画Ⅱ	0	0		0		0	0	0	0	_		0	
専門応用	デザイン	建築計画Ⅰ	<u></u>	0		0		<u></u>	0	0	0	0	0	0	
専門応用専門応用	デザイン デザイン	建築デザイン論建築再生計画論	0	0		0	0	0	© ©	0	0	0		0	
サロル用	デザイン	建業再生計画調 ランドスケープ論	0	0	0	0)	0	₩	0	0	0	0	0	
専門応田		サウンドスケープデザイン	0 0	0		0		0			0		0	_	2021年度休講
	デザイン					0		<u> </u>	0		0	0	+	0	· ~ FI HIT
専門応用 専門応用 専門応用	デザイン	不動産学基礎		0							_	_	1		t .
専門応用		不動産学基礎 都市形成史	0	0	0	0	0	0			0	0		0	
専門応用 専門応用	デザイン		0		© O		0	0	0	0			0		

学位授与	方針と各科目の	関連(建築・環境学部建築・環境学科)					ディ	プロマ	゚゚・ポリ	シー					
建築・環境学	部建築・環境学科は. 教育	育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域12項目及び各コースの能力)を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総	知	ı識·理	解	技	能	思考	•判断•	表現	B	関心・意	微・態!	隻	
合的かつ全体在の共生社会	Þ的な学術体系を基盤とし ≷が必要とする諸課題を追	、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現 B及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	Rと他者理解につながる幅	『広い教養(※)を身につけている。(幅広い教養) ・部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。													
2. 建築の意	訂匠、歴史、構造、材料、 理	- ロテルログ教授教育に子の独自の教授教育が自るれる。 建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。(専門分野に関する知識・理解) Jの歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)													
◆技能		築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。(問題発見·解決力)													
 5. 国際社会 ◆思考·判断 	≩において協働できるコミ <u>:</u> ・表現	ュニケーションカを有している。(国際協働力)													
(多文化での	共生)	理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。													
8. 他者の意	意見に耳を傾けるとともに.	た事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。 (倫理観、公平・公正な判断) 、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理													
解している。(◆関心・意欲 a 生涯にた	・態度	技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(生涯学び続ける意欲)													
10. 社会·地	域・組織の一員としての役	状能を果たうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(社会参加への主体性) 豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)													備考
		する実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(建学の精神の実践、奉仕動													
更に、各コース	スの方針を次のように定め デインコース	ঠক.		専門					Æ				チー	建学	
いる。		を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン(設計)を実践できる感性と能力を身につけて		分	地				理				٨	の	
建築構造	・ジニアリングコース や材料・施エに関わる設言 Eデザインコース	†・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。		野に	域に				観、		生	社	ワー	精神	
建物の環境		工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に		関す	関す	問題		多	公平		涯 学	会参	ク、	の実	
4. まちづくり	リデザインコース	:めに、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性	A급	る	る	発		文	•	九五	び	加	他	践	
と能力を身に 5. すまいデ	つけている。 ・ザインコース		幅広	知識	知識	見	国際 は	化での	公正	傾 聴 -	続ける	へ の :	者との	奉	
	関する知識をもとに、戸建 く携わる感性と能力を身!	住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する こつけている。	か教	理	理	解決	協 働	の共	な判	と発	る 意	主体	協	仕動	
秘口			養	解	解	力	力	生	断	信	欲	性	働	機	
科目 区分	分野	時間割名			()(当て	はまる	5)	O(-	部当て	はまる)			
専門応用	デザイン	家族論	0	0		0		0	0		0	0		0	
専門応用	デザイン	すまいデザイン論	0	0		0		0	0		0	0	0	0	
専門応用	デザイン	住居史	0	0		0		0	0		0			0	
専門応用	デザイン	インテリアデザイン	0	0		0		0		0	0		0	0	2021年度休講
専門応用	デザイン	ファーニチャーデザイン	0	0		0		0		0	0		0	0	2021年度休講
専門応用	デザイン	日本建築史	0	0	0	0		0	0		0			0	
専門応用	デザイン	西洋建築史	0	0		0	0	0	0		0			0	
専門応用	デザイン	近代建築史	0	0		0	0	0	0		0			0	
専門応用	デザイン	建築理論史	0	0		0		0	0	0	0			0	2021年度休講
専門応用	デザイン	まちづくり論[建]	0	0		0		0	0	0	0			0	
専門応用	デザイン	環境デザイン概論A	0	0		0		0	0	0	0				新設科目
専門応用	デザイン	環境デザイン概論B	0	0		0		0	0	0	0			0	新設科目
専門応用	構造	フレームの力学基礎[A]	0	0	0	0			0		0			0	
専門応用	構造	フレームの力学基礎[B]	0	0	0	0			0		0			0	
専門応用	構造	フレームの力学 I [A]		0		0			0		0			0	
専門応用	構造	フレームの力学 I [B]		0		0			0		0			0	
専門応用	構造	静定フレーム演習		0		0			0		0			0	
専門応用	構造	フレームの力学Ⅱ		0		0			0		0			0	
専門応用	構造	フレームの力学皿		0		0			0		0	0		0	
専門応用	構造	不静定フレーム演習		0		0			0		0			0	
専門応用	構造	建築構造計画	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	
専門応用	構造	鉄骨構造		0	0	0	0	0	0		0			0	
専門応用	構造	鉄筋コンクリート構造		0	0	0	0	0	0		0			0	立てきルチリロ
専門応用	構造 構造	本質構造 建築構造実験		0	0	0	0	0	O	o	0				新設科目
専門応用				_		0			0	0	0	0	0	0	
専門応用		建築耐震工学概論 建築振動学	0	0	0	0 ©		0	0		0			0	
専門応用		構造解析学[建]		0		0			0		0			0	
専門応用		基礎·地盤力学	0	0	0	0			0		0			0	
専門応用	構造	地震工学概論	0	0	0	0	0		0		0			0	
専門応用	構造	構造設計I	0	0	0	0			0		0	0	0	0	
専門応用	構造	構造設計Ⅱ	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	
専門応用	材料・施工	建築生産・材料基礎	0	0	0	0			0		0			0	
専門応用	材料•施工	建築材料学 I	0	0		0			0		0			0	
専門応用	材料•施工	建築材料学Ⅱ		0		0			0		0			0	
専門応用	材料•施工	建築材料実験		0		0			0	0	0		0	0	
専門応用	材料・施工	インテリア材料・施工	0	0		0			0		0			0	2021年度休講
専門応用	材料∙施工	建築構法 I	0	0		0			0		0			0	
専門応用	材料∙施工	建築構法Ⅱ		0		0			0		0			0	
専門応用	材料∙施工	建築施工学 I	0	0		0			0		0			0	2021年度休講
専門応用	材料•施工	建築施工学Ⅱ		0		0			0		0			0	
専門応用	材料∙施工	施工演習		0		0			0		0			0	
専門応用	材料∙施工	建築生産		0		0			0		0			0	新設科目
専門応用	材料∙施工	建築病理学	0	0		0			0		0			0	
専門応用	材料∙施工	ファシリティ・マネジメント	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	
専門応用	環境∙設備	建築環境·設備基礎	0	0		0					0			0	
専門応用	環境∙設備	建築熱環境		0		0					0			0	
専門応用	環境∙設備	建築光·音環境		0		0					0			0	
専門応用	環境∙設備	建築水環境		0		0					0			0	
専門応用	環境•設備	建築空気環境		0		0					0			0	
専門応用	環境∙設備	電気設備論		0		0					0			0	
専門応用	環境∙設備	都市環境		0	0	0					0			_	2021年度休講
専門応用	環境∙設備	建築・地球環境論		0	0	0					0			0	
	環境∙設備	建築環境·設備応用		0		0			0		0				2021年度休講
専門応用専門応用	環境∙設備	建築設備計画		0	i.	0			0		0	1	1	0	

字位授与	方針と各科目の	関連(建築・環境学部建築・環境学科) 						プロマ							
		育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域12項目及び各コースの能力)を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総 、、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現	失	謙・理			能		•判断•				欲•態.		
	会が必要とする諸課題を追	は、アットンとエンシーアンフィンのできる。 は、大きないできるないできるないできるないできるないできるないできるないできるないでき	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	-
. 自己理解	解と他者理解につながる幅	屈広い教養(※)を身につけている。(幅広い教養) 产部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。													
建築の意	急匠、歴史、構造、材料、5	環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。(専門分野に関する知識・理解) 」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)													
支能															
国際社会	会において協働できるコミ:	≜築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。(問題発見・解決力) ュニケーションカを有している。(国際協働力)													
思考・判断 . 他者がも		理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。													
文化での. 倫理観と		た事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。(倫理観、公平・公正な判断)													
. 他者の意		、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理													
関心・意欲	・態度	技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(生涯学び続ける意欲)													LIL -L.
. 社会・地	」域・組織の一員としての役	设割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(社会参加への主体性)													備考
問題に対		豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) する実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(建学の精神の実践、奉仕動													
	スの方針を次のように定め	ঠ ৱ.		専									チ	建	
建築に対	ザインコース する幅広い基礎的な素養	を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン(設計)を実践できる感性と能力を身につけて		門	Life.				倫				Ì	学	
	レジニアリングコース			分野	地 域				理観				ムワ	の精	
	や材料・施工に関わる設言 生デザインコース	計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。		に関	に関	問					生涯	社	ーク	神の	
	境・設備に関わる設計・施 と身につけている。	工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に		す	す	題		多	公平		学	会参		実	
良好な都		よめに、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケープデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性	幅	る 知	る知	発見	国	文化	· 公	化百	び 続	加へ	他者	践、	
能力を身に	つけている。 デザインコース		広	識	識	•	際	で	正	傾聴	け	の	٤	奉	
すまいに		住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関するにつけている。	い	•	•	解油	協	の	な	٢	る	主	の	仕	
ァム に帰足	ュヽエッッ1/砂ぱはC肥刀を身		教養	理解	理解	決力	動力	共生	判断	発 信	意欲	体 性	協働	動機	
は日本	分野	時間割名					はまる				はまる				
区分							1500	,			1	1			
門応用	環境∙設備	パッシブデザイン		0	0	0					0			0	
門応用	環境∙設備	環境設備リニューアル		0		0					0			0	
門応用	環境∙設備	環境設備維持保全		0		0			0		0			0	2021年度休請
門応用	環境∙設備	建築環境・設備実験		0		0					0		0	0	
門応用	環境・設備	環境シミュレーション		0							0			0	
				_							_			_	
門応用	環境・設備	建築設備・設計演習		0		0					0			0	
門応用	環境・設備	建築環境エネルギー		0		0			0		0			0	
門応用	環境∙設備	資源リサイクル		0		0			0		0			0	2021年度休請
門応用	コモン	ゼミナール(春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	中津 秀之
門応用	コモン	ゼミナール(春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	酒谷 粋将
門応用	コモン	ゼミナール(春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	中島 正夫
門応用	コモン	ゼミナール(春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<u> </u>	0		大塚 雅之
			_	_			_		_				_		
門応用	コモン	ゼミナール(春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		高島 英幸
門応用	コモン	ゼミナール(春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	古賀 紀江
門応用	コモン	ゼミナール(春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黒田 泰介
門応用	コモン	ゼミナール(春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	遠藤 智行
門応用	コモン	ゼミナール(春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	渡部 洋
門応用	コモン	ゼミナール(春学期クラス)	0	0	0		0	0	0	0	0	<u> </u>	0		粕谷 淳司
									-						
門応用	コモン	ゼミナール(春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		神戸渡
門応用	コモン	ゼミナール(春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	山口 温
門応用	コモン	ゼミナール(春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	李 祥準
門応用	コモン	ゼミナール(春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	柳澤 潤
門応用	コモン	ゼミナール(春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	中村 秀親
門応用	コモン	せミナール(秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	中津 秀之
門応用	コモン	ゼミナール(秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		酒谷 粋将
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		_	_	_				_		_	_	_		
門応用	コモン	ゼミナール(秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		中島正夫
門応用	コモン	ゼミナール(秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	大塚 雅之
門応用	コモン	ゼミナール(秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	高島 英幸
門応用	コモン	ゼミナール(秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	古賀 紀江
門応用	コモン	ゼミナール(秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黒田 泰介
門応用	コモン	ゼミナール(秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	遠藤 智行
門応用	コモン	ゼミナール(秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	渡部 洋
				_	_		_				_		_	_	
門応用	コモン	ゼミナール(秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	粕谷 淳司
門応用	コモン	ゼミナール(秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		神戸 渡
門応用	コモン	ゼミナール(秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	山口 温
門応用	コモン	ゼミナール(秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	李 祥準
門応用	コモン	ゼミナール(秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	柳澤 潤
門応用	コモン	ゼミナール(秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	中村 秀親
門応用	コモン	卒業研究[建](春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		中津 秀之
門応用	コモン	卒業研究[建](春学期クラス)	_	_			0			_					酒谷 粋将
	·		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0		
門応用	コモン	卒業研究[建](春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		中島 正夫
『応用	コモン	卒業研究[建](春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		大塚 雅之
『応用	コモン	卒業研究[建](春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	高島 英幸
]応用	コモン	卒業研究[建](春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	古賀 紀江
『応用	コモン	卒業研究[建](春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黒田 泰介
『応用	コモン	卒業研究[建](春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		遠藤 智行
門応用		卒業研究[建](春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		渡部 洋
-	コモン			_	_		_		-		0		_	_	
門応用	コモン	卒業研究[建](春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		粕谷 淳司
門応用	コモン	卒業研究[建](春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	神戸 渡
門応用	コモン	卒業研究[建](春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	山口 温
門応用	コモン	卒業研究[建](春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	李 祥準
門応用	コモン	卒業研究[建](春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		柳澤 潤
門応用	コモン	卒業研究[建](春学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		中村 秀親
-	•						_			_					
a	コモン	卒業研究[建](秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		中津 秀之
引応用 引応用	コモン	卒業研究[建](秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	酒谷 粋将

学位授与方針と各科目の関連(建築・環境学部建築・環境学科)					ディプロマ・ポリシー												
車築・環境学部	築・環境学部建築・環境学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域12項目及び各コースの能力)を備え、所定の単位を修得しており、建築・環境学の総 的かつ全体的な学術体系を基盤とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現 の共生社会が必要とする諸課題を追及することのできる能力を得たと認められた学生に学位を授与する。 団臓・理解				識·理解 技			能思考·判断·表現				関心・意					
合的かつ全体的					3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養(※)を身につけている。(幅広い教養) (※)総合大学の利点を活かした学部共通の教養教育と学部独自の教養教育が含まれる。 2. 建築の意匠、歴史、構造、材料、環境・設備に関する基礎的知識を理解している。建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる。(専門分野に関する知識・理解) 3. 建築・環境学の観点から、「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)																	
 技能 4. 建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを自ら実行する技術を持つ。(問題発見・解決力) 5. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力) ▶思考・判断、表現 6. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。 多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神を持った事象の判断力を有するとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している。(倫理観、公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信する能力を身につけるとともに、建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理収している。(検聴と発信) 																	
▶関心・意欲・態度 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を持って、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(生涯学び続ける意欲) ○. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を身につけ、社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(社会参加への主体性) 1. 建築物の設計プロセスにおいて、豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 2. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。社会から見た建築の有意性と現在の問題点を追跡できる能力を有している。(建学の精神の実践、奉仕動 ***********************************															備考		
機) 巨に、各コースの方針を次のように定める。 1. 建築デザインコース 建築に対する幅広い基礎的な素養を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン(設計)を実践できる感性と能力を身につけて いる。				専門分配	地				倫理				チーム	建学のは			
建築構造や 3. 環境共生デ	建築エンジニアリングコース 建築構造や材料・施工に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる能力を身につけている。 環境共生デザインコース 建物の環境・設備に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に うる能力を身につけている。 まちづくりデザインコース 良好な都市環境を創出・再生するために、コミュニティデザインや既存建造物の再生・利活用、ランドスケーブデザインなど総合的な観点から、地域社会の活性化に携わる感性			野 に 関-	域に関・	問			観、公	傾	生涯	社会	ワーク	精神の実践、			
4. まちづくりテ 良好な都市野			幅	す る 知	す る 知	題発見	国	多文化	平 · 公		学び続	参加へ	他者				
 すまいデザ すまいに関す 	能力を身につけている。 5. すまいデザインコース すまいに関する知識をもとに、戸建住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する 野まで幅広く携わる感性と能力を身につけている。			識 理 解	識理解	解決力	院 協 動 力	での共生	正な判断	聴と発信	ける意欲	の主体性	との協働	奉仕動機			
科目区分	分野	時間割名	養 解 解 カ カ 生 断 信 欲 性 働 機 ⑥(当てはまる) 〇(一部当ではまる)														
∮門応用	コモン	卒業研究[建](秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	中島 正夫		
厚門応用	コモン	卒業研究[建](秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	大塚 雅之		
 専門応用	コモン	卒業研究[建](秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	高島 英幸		
 専門応用	コモン	卒業研究[建](秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	古賀 紀江		
専門応用	コモン	卒業研究[建](秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黒田 泰介		
専門応用	コモン	卒業研究[建](秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	遠藤 智行		
専門応用	コモン	卒業研究[建](秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	渡部 洋		
専門応用	コモン	卒業研究[建](秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	粕谷 淳司		
 専門応用	コモン	卒業研究[建](秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	神戸 渡		
専門応用	コモン	卒業研究[建](秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	山口 温		
専門応用	コモン	卒業研究[建](秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	李 祥準		
専門応用	コモン	卒業研究[建](秋学期クラス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	柳澤 潤		
נוליטיונ ו די																	